



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

Vol. 6

August 16, 2000

➤ インターネット GIS としての VENTEN

ADRC が開発した VENTEN (Vehicle through Electronic Network of disaster geographical information) は、



電子ネットワークを活用した防災地理情報の伝達手段です。七福神の一人である弁財天は、防災も司る神様であることから、VENTEN と名付けました。

VENTEN はあらゆる地理データ (衛星画像、地図など) を表示・分析するプラットフォームとして、エンドユーザに役立つ情報を提供するものです。

地理情報システム (GIS) を使うには、次のことが必要です。

- 1) 衛星画像・地図 (1 次データ) などの購入
- 2) GIS ソフトウェアの購入
- 3) データの加工・解析
- 4) 結果の活用

しかし、現在では地理情報システム (GIS) の導入には、高いコストと高い IT が必要で、また、GIS の標準化は進んでいないため、ニーズ別にソフトを選定する必要があり、幅広い知識が求められます。

これに対し、インターネット上で、地図等の入力、地図の重ね合わせ、各種空間分析等の GIS 機能が全て提供できれば、導入コストを押さえ、誰もが GIS を簡単に利用できるようになります。

アジア防災センターは、このようなプラットフォームを研究し、インターネット防災地理情報システム VENTEN の開発を科学技術振興事業団の研究助成により行いました。

本システムは、Web サーバー、GIS サーバー及びデータベースサーバーから構成され、ユーザーは Web を利用して、どこからでも GIS を操作することが可能です。

現在ではアジア地域の 22 カ国における防災データベースを蓄積しています。

VENTEN の開発目的と整備状況は以下の通りです。

1) システム (GIS 機能) を提供すること

- ・任意スケールによる表示
- ・バッファリング
- ・重ね合わせ
- ・防災情報の場所による検索
- ・災害属性による検索
- ・最短距離解析

2) データを提供すること

- ・基本地理情報 (1/100 万スケールでアジア 22 カ国)
 - 国境(領域)、水系(線、領域)、鉄道(線)、道路(線)、空港(点)、都市名(点)、人口(数値)、標高を基にした陰影画像、標高の等高線図
- ・防災地理情報

➤ アジアにおける最新災害情報

□ インドの洪水

インド北東部の洪水に対し、赤十字社及び赤新月社は、飲料水、米、毛布などのための 600 万スイスフランの救援を決定した。

被災地では数週間食物や医療から切り離された状態が続いており、救援物資が速やかに届かない場合、住民達に重大な栄養不良や伝染病の恐れがある。

しかし、洪水や地すべりによる道路や橋の寸断により、救援活動は困難であり、特に大きな被害を受けた村へは未だアクセスできないままである。(8/12 IFRC)

□ ブータンの洪水

ブータン南部、インドとの国境に沿って洪水と地すべりが発生した。1994 年 5 月のサイクロン、同年 10 月の洪水以来の、ブータンの歴史上最悪の災害で、特に Phuentsholing と Pasakha では大きな被害となっている。道路網の寸断、断水が大きな問題となっており、1,000 人以上が避難している。(8/11 OCHA)

□ 中央・西アジアの干ばつ (続報)

Vol. 5 の報告に引き続き、中央・西アジアの干ばつが深刻な状況である。アラル海流域の 1,500 万人に影響が出ているウズベキスタンでは、政府が、干ばつの被害を軽減させるための支援を国連にアピールした。(8/11 OCHA)

ご意見・ご要望等があれば右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 IHDビル 3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料: 無料 / 毎月 2 回発行 (予定)